

校長室だより 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

カメラマンさんのつばやき

6年生は、先週、無事修学旅行を終えることが出来ました。この2日間、カメラマンさんが同行してくださいました。このカメラマンさんは、子どもたちの行動を見るたびに、嬉しいつばやきを聞かせてくださいました。

平和集会で子どもたちの歌を聞いて「歌すごいなあ！2番まで聞きたかったです！」

龍踊の練習を見ながら

「練習の時からこんなに大きな声のでる子ども初めてです。日頃の積み上げですね。」龍踊の練習が終わり、集合がかかりました。「並ぶの速いなあ！感心しますねえ！」

カメラマンさんは、いろいろな学校と関わっていらっしゃるようです。そんなカメラマンさんのつばやきは、修学旅行引率最後となった私にとって、最高のご褒美となりました。

平和集会

晴れ渡った空のもと、子どもたちは原爆落下中心地に立ち、平和集会を行いました。春日小学校の1年生から6年生まで全員で作った千羽鶴を捧げ、平和宣言を行いました。

背筋を凍と伸ばし、まっすぐ前を向いて「戦争のない世界をつくっていくために、命のある限り、次の世代、未来に向かって責任を果たしていくこと」を力強く宣言しました。

そして、「HEIWAの鐘」を原爆落下中心地に響き渡らせました。

ぼくらの生まれこの星に ♪♪
奇跡を起こしてみないか ♪
こぶしを広げてつなぎゆく ♪
心はひとつになれるのさ
HEIWAの鐘は 君の胸に響くよ ♪

今、人類の歴史の最先端を歩むこの子どもたちが、小学6年生の時に立てたこの誓いを、決して忘れることなく歩んで欲しいと思います。

地球のHEIWAのために！



国連本部の壁に

6年生の平和集会に参加しながら、以前、福岡女学院教会の牧師さんから聞いた話を思い出しました。

ニューヨークにある国連本部の壁には、次のような言葉が刻まれているそうです。

「彼らはその剣を打ちかえて鋤となし、その槍を打ちかえて刈り込み鎌となし、国は国に向かい剣を上げず、もはや戦いのことを学ばざるべし」

国連本部の壁に刻まれている言葉のように、全ての人(国)が「剣を打ちかえて鋤となす」勇氣と知恵を持ちさえすれば、この地球はもっと平和に、もっと豊かになるはずです。

お礼の言葉

6年生を乗せたバスは学校の近くまでやって来ました。修学旅行も間もなく終了。

ここは1号車。1組の西田さんがクラスを代表して、バスガイドさんに、運転手さんに、カメラマンさんに、旅行会社の方に一人一人お礼を言っていました。とても上手なお礼の言葉です。

橋爪先生に促されて、私にもお礼の言葉を、となりましたが、西田さんは、私に対して何を言えばよいのか、言葉が詰まってしまいました。その時、橋爪先生がすかさずアドバイスをしました。

「ほらほら、天気、天気……」
「あっそうか！」
「校長先生、2日間雨を降らさないでありがとうございました>(* ㇏)」

